

# 東京・大田でフードバンク

## 「多くの方困窮」実感

コロナ禍で生活に困っている人を支援しようと、東京都大田区の東京南部法律事務所の呼びかけで結成した「フードネット大田」は24日、JR蒲田駅前でフードバンクを開きました。米や缶詰、約300食が用意され、マスクや生理用品も配布しました。

開始20分以上前からたくさんの方が並び、食料などを受け取ることに「ありがとうございます。助かります」とお礼を述べました。ボラ

ンティアとして初参加した女性(35)は「思いのほかたくさんの方が受け取りに来た。多くの方が困窮していると伝わってきました」と話します。

食料を受け取った女性(41)は「生活が厳しいので本当にありがたい。子どもが3人いるが一番上の子は大学生。学費や生活費で大変」と話しました。

同法律事務所の永井久菜太(くらふと)弁護士(28)は「アンケート

ートに寄せられた声はと感じた。貧困は外見では判断できません。目の前の人も生活が苦しいことが多いです」コロナが影響していると話しました。

### 鳥取で学生食料支援

## 「週3日は食費200円」

コロナ禍で困窮する学生に無料で食料品などを配る第7回「フードプロジェクト・学生食料支援」が24日、鳥取市の鳥取大学近くの会館で午前と午後開かれました。主催は同実行委員会。

コメ3kg、レトルトカレー、缶詰、袋めん、キャベツ、生理用品などを用意しました。「学費と家賃は奨学金で払い、月2万円の仕送りと4万〜5万円のコールセンターのバイトで生活しています。食費が1日200円の日が週に3日ほどある」(4年生女子)。「仕送りなしで、給付

「生活保護を受けた」という相談も寄せられ、相談員が丁寧に対応しました。

型4万円と貸与型3万円の奨学金とリースショップのバイト4万円で生活してきました。授業料は免除です」(4年生男子)。「コロナ感染拡大を理由にバイトを首になりました。収入が4万〜5万円減って困っている」(院生2年生男子)「店が休業になり、バイト代5万円がなくなりました」(5年生女子)「獣医学部の教科書代が9万円もかかり支援は助かる」(3年生男子)などの声が寄せられました。



食料や日用品を受け取る人たち 24日、東京都大田区



食料を受け取る学生たち 24日、鳥取市